

# 緑地及び環境関係調査について

## 資料 2

### 1 緑被率調査

#### (1) 緑被率調査の概要

衛星写真をもとに上空からみたときの本市の緑被状況を判読し、緑被率及びみどり率を算出。

#### ○使用データ

①Sentinel2衛星画像（令和6年6月から10月の雨量の少ない5時点のデータをもとに雲の影響を除去。解像度10m）

②GRUS衛星画像（令和6年9月14日撮影。解像度5m）

#### ○緑被地抽出の最少単位

25m<sup>2</sup>（5m×5mメッシュ）

#### ○緑被地の区分

- ・樹林地：樹木で覆われた土地
- ・水面・水辺：河川、池、沼、水路
- ・草地：公園、グラウンド、校庭、河川敷、堤防、工場、ゴルフ場などの芝生地。ススキ、ササ等
- ・裸地：植物や建築物等に覆われておらず、土がむき出しになっている場所。土のグラウンドや校庭、空地、造成中の土地など
- ・農地：水田、畑、果樹園等の農耕地および休耕地

※緑被率：みどり（樹林地・草地・農地など）で覆われている部分が占める割合のこと。

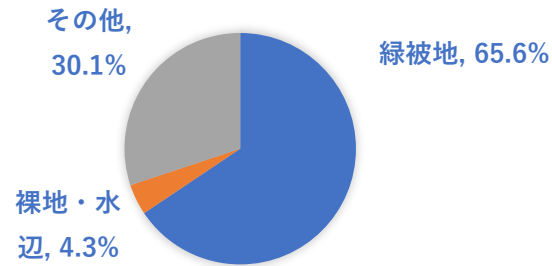
※みどり率：みどり（樹林地・草地・農地など）で覆われている部分に、河川や水路等の水面やみどりに囲まれたグラウンドなどの面積を加えた水・みどりの量（面積）の割合のこと。

# 資料 2

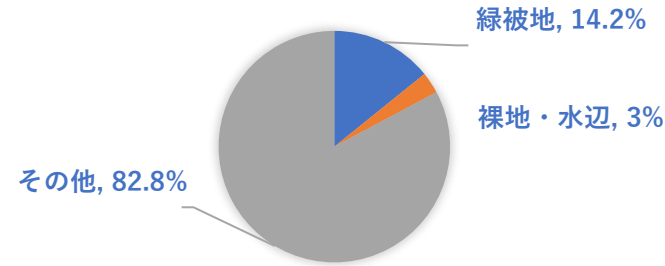
## (2) 市域および区域別の緑被率

### ア) 緑被地（樹林地・草地・農地）、裸地・水辺の割合

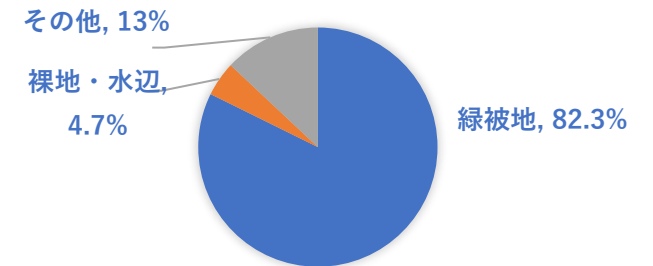
市全域（令和6年調査）



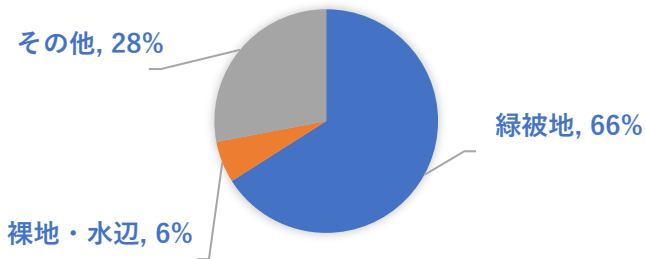
市街化区域（令和6年調査）



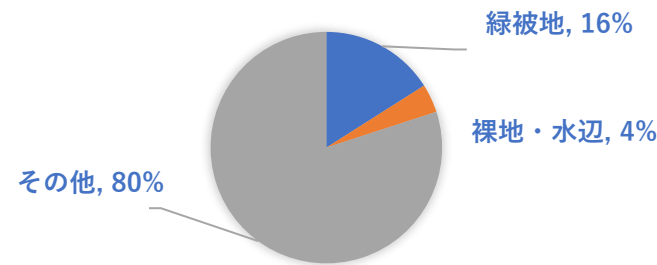
市街化調整区域（令和6年調査）



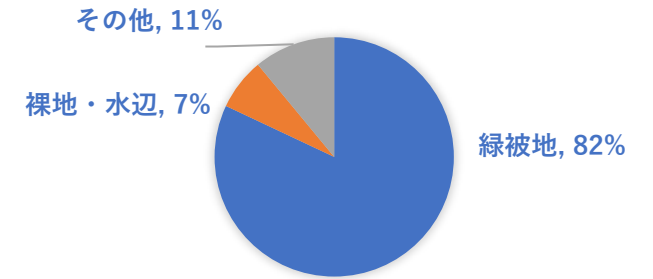
市全域（平成26年調査）



市街化区域（平成26年調査）



市街化調整区域（平成26年調査）

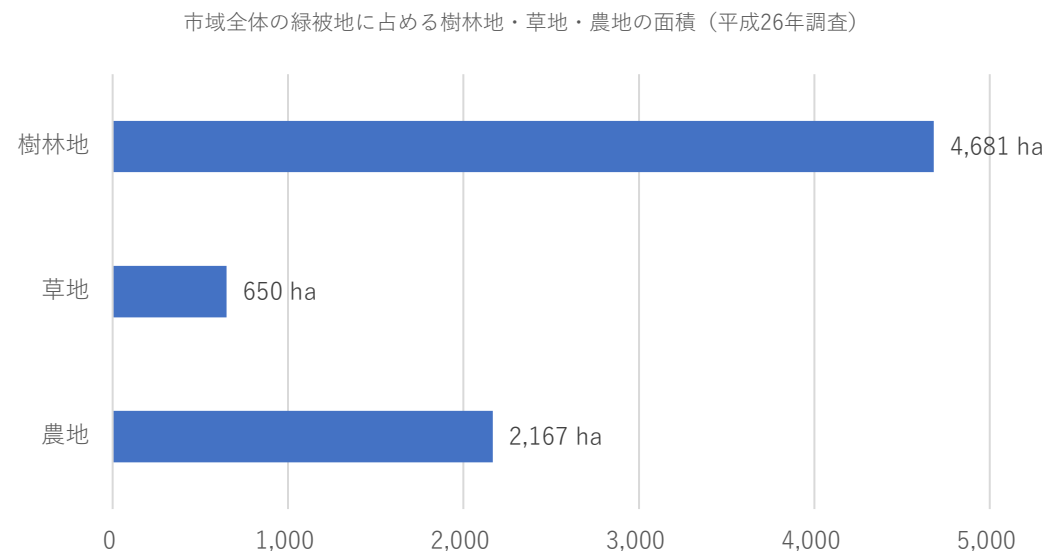
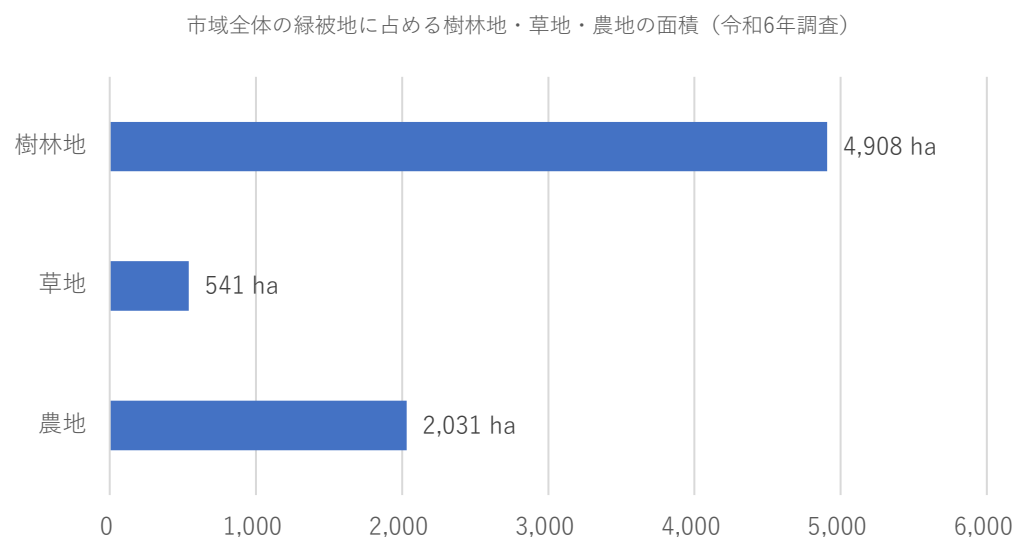


○今回実施した現況調査によると、本市の緑被率は、市域面積の65.6%。前回平成26年調査時は66%で、0.4%減少。

○このうち、市街化区域の緑被率が14.2%（前回16%）と低く、市街化調整区域の緑被率は82.3%（前回82%）となっており、市内全体で見ると、市街化区域ではみどりが少なく、市街化調整区域ではみどりが豊富。

○緑被率が減少した主な理由としては、農地の減少が考えられる。

## イ) 市域全体の緑被地に占める樹林地・草地・農地の割合



○市域全体の緑被地に占める樹林地面積については、前回調査時点より227ha増、草地については109ha減、農地については136ha減となっている。

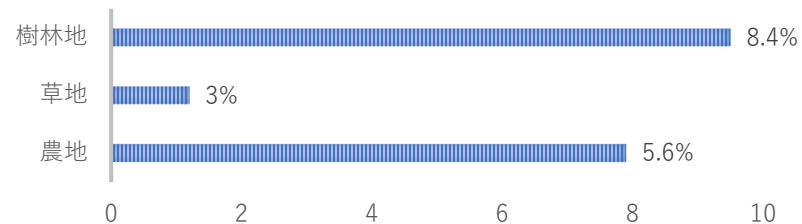
○樹林地が増加している主な理由としては、森林の増加や耕作放棄地の増加などが考えられる。

○農地が減少している主な理由としては、農業従事者の高齢化、後継者不足による労働力不足、都市化に伴う農地の転用などが考えられ、これらの要因が重なることで農地全体の面積が減少していることが推測される。

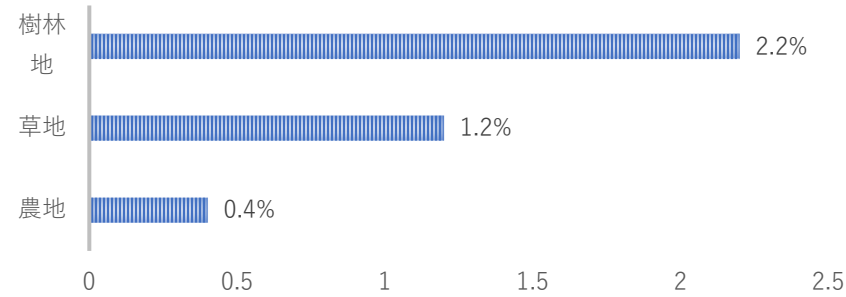
## (2) 用途地域別の緑被状況

### ア) 用途地域別の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合

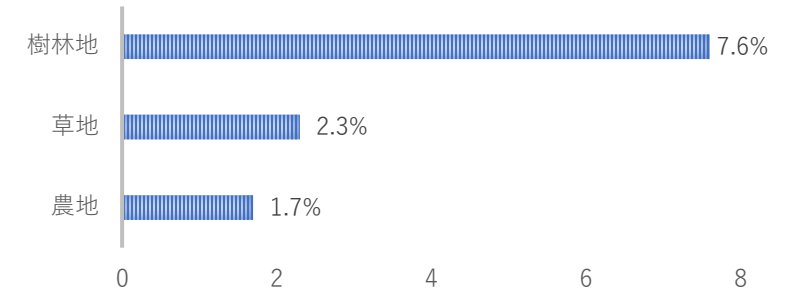
住居系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（令和6年調査）



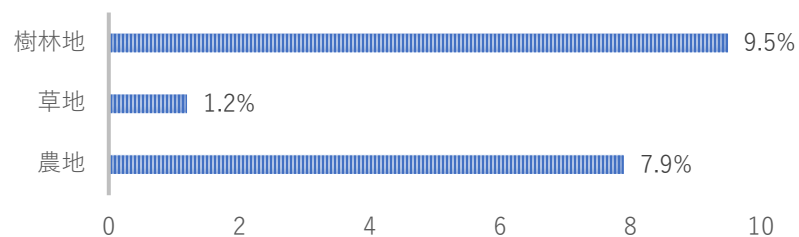
商業系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（令和6年調査）



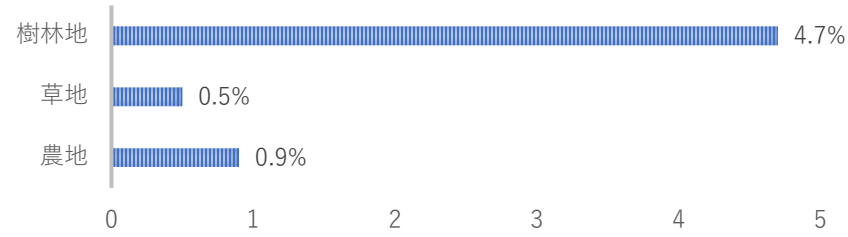
工業系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（令和6年調査）



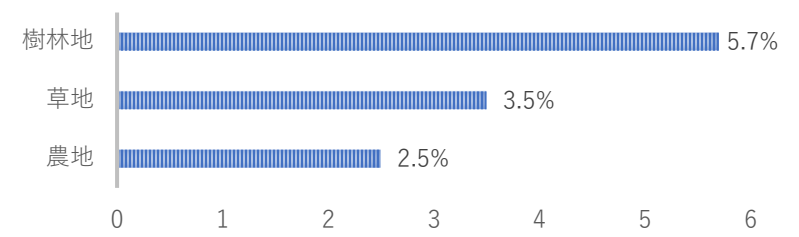
住居系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（平成26年調査）



商業系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（平成26年調査）



工業系の緑被地（樹林地・草地・農地）の割合  
（平成26年調査）



○用途地域別の緑被率は、住居系が17%（前回18.6%）、商業系が3.8%（前回6.1%）、工業系が11.6%（前回11.7%）で、商業系が特に低い。

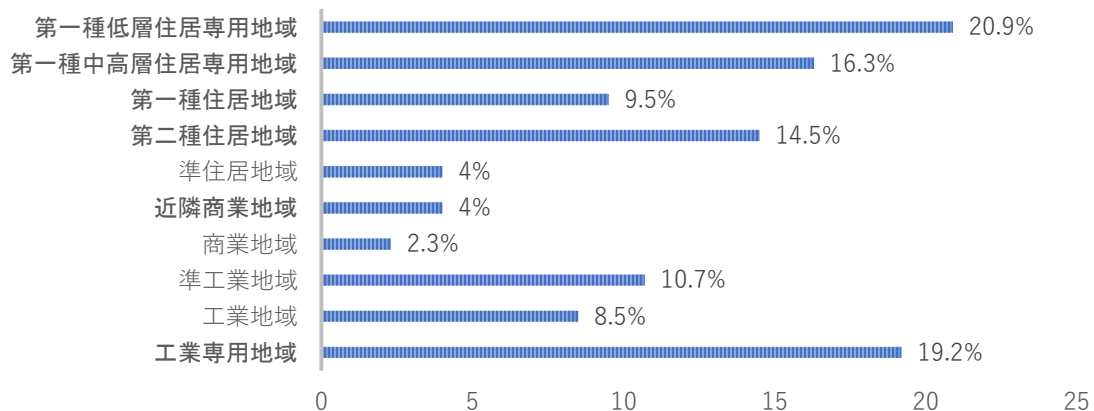
○住居系については、樹林地は8.4%（前回9.5%）で1.1%減少、草地は3%（前回1.2%）で1.8%増加、農地は5.6%（前回7.9%）で2.3%減少。

○商業系については、樹林地は2.2%（前回4.7%）で2.5%減少、草地は1.2%（前回0.5%）で0.7%増加、農地は0.4%（前回0.9%）で0.5%減少。

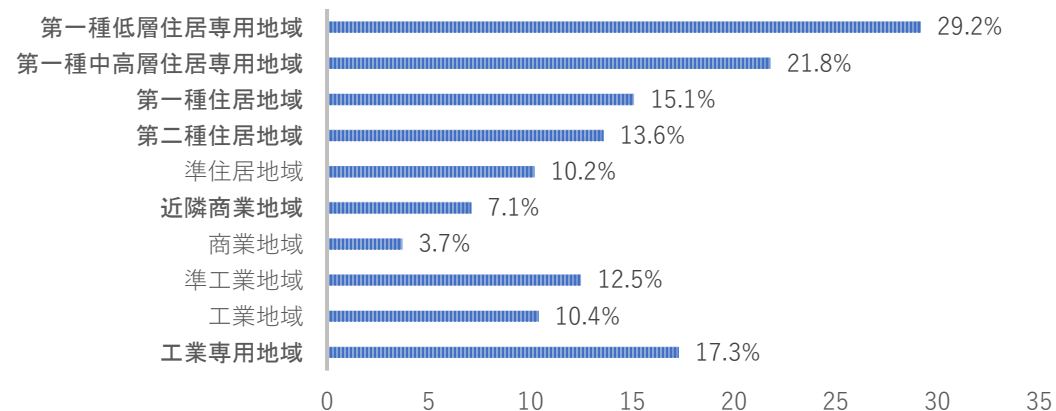
○工業系については、樹林地は7.6%（前回5.7%）で1.9%増加、草地は2.3%（前回3.5%）で1.2%減少、農地は1.7%（前回2.5%）で0.8%減少。

## イ) 用途別地域緑被率（樹林地・草地・農地）

用途地域別緑被率（樹林地・草地・農地・令和6年調査）



用途地域別緑被率（樹林地・草地・農地・平成26年調査）



○住居系の中で緑被率が比較的高いのは、第一種低層住居専用地域で20.9%（前回29.2%）と第一種中高層住居専用地域で16.3%（前回21.8%）。

○10%を下回るのは、第一種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、工業地域となっており、特に商業地域は2.3%と低い。

※第一種低層住宅専用地域：低層住宅の良好な環境を守るための地域

※第一種中高層住居専用地域：マンションや戸建てなどの中高層住宅の良好な住環境を守る地域

※第一種住居地域：住居周辺の環境を保護するために定められた地域

※第二種住居地域：住居の環境を保護しながらも、住宅以外に店舗などが建築できる地域

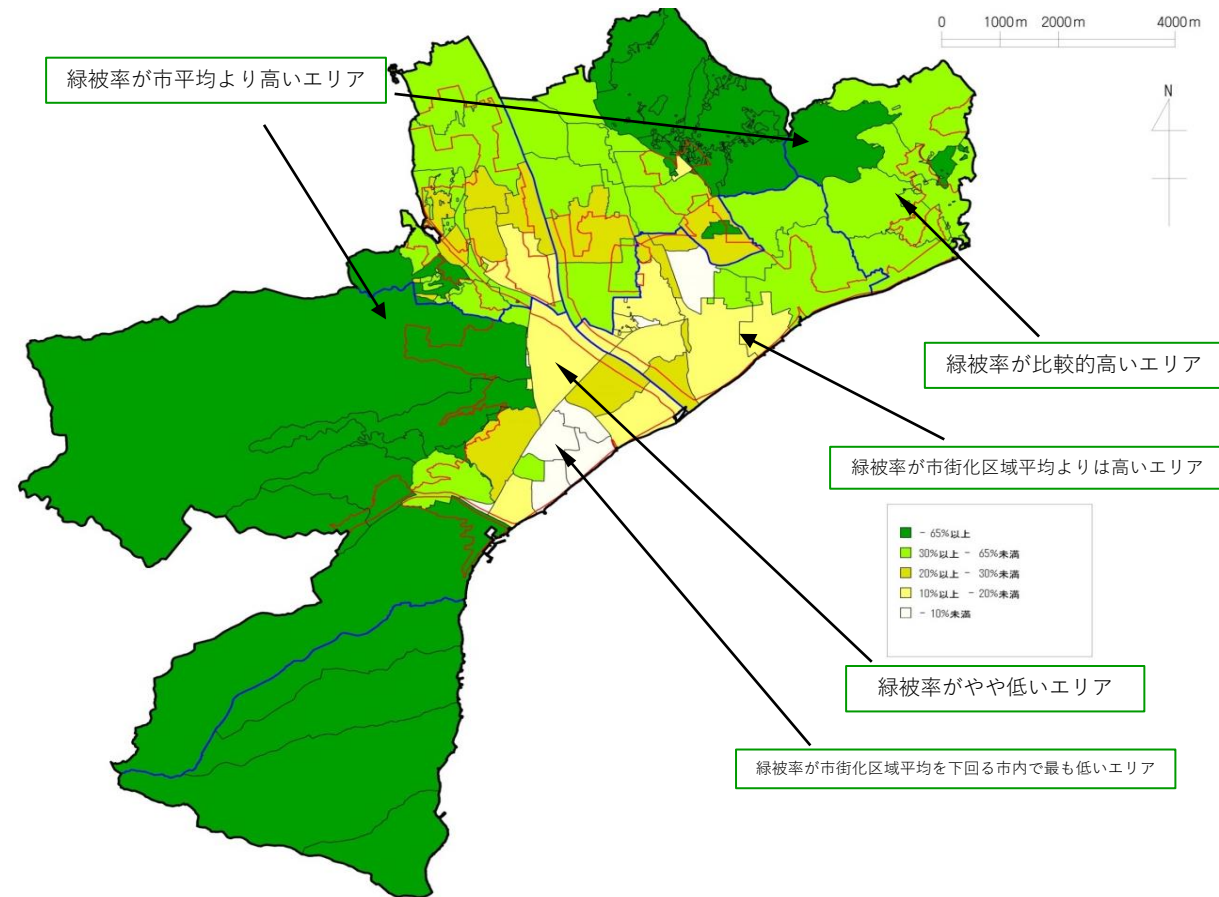
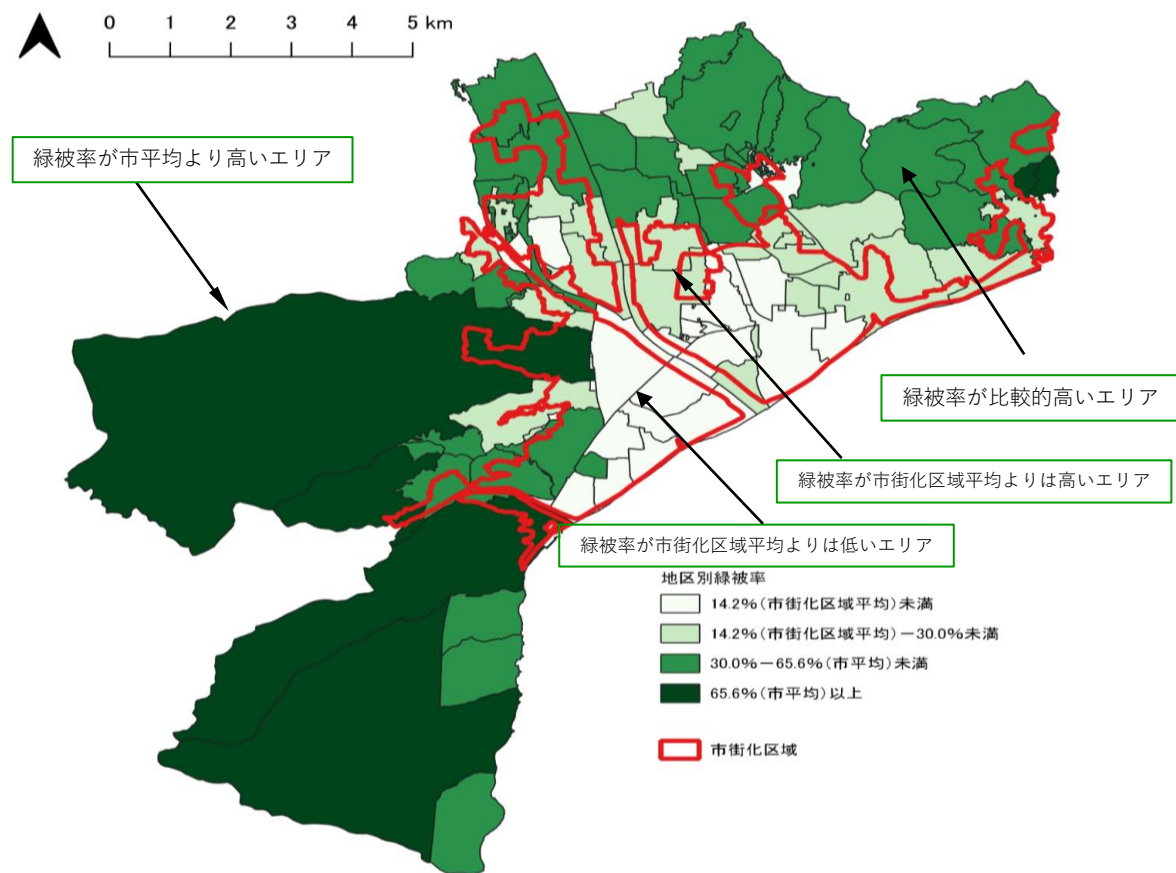
※準住居地域：道路沿いを中心に住居と調和できる施設が建てられる地域

※近隣商業地域：周辺の住民が日用品の買い物などを便利にできるように、商業施設の利便性を増進するために指定される地域

- ※商業地域：「主に商業その他の業務の利便を増進する」ために指定される地域
- ※準工業地域：環境の悪化をもたらさない軽工業の工場や住宅・店舗等の一般的な建築物が混在する地域
- ※工業地域：主として工業の利便を増進するため定める地域
- ※工業専用地域：住居の建設が禁止され、工場など工業関連の建設が中心となるように指定された地域



### (3) 緑被地の分布（左図 令和6年調査 右図 平成26年調査）



○本市南西部の山地と北東部の一部が市平均緑被率65.6%を上回り、そこに接するエリアが30%以上65.6%未満と高いエリアになっている。また、小田原駅南側にある栄町、中町、浜町や鴨宮北東側の工場や商業施設等が集積する中里等が市街化区域平均を下回るエリアになっている。

○前回の調査と比較し、平均緑被率を上回るエリアが減少。主な理由としては農地の減少が考えられる。また、緑被率が低いエリアに関しては、変化はなく、まちなかのエリアが低い。

## 2 緑地調査

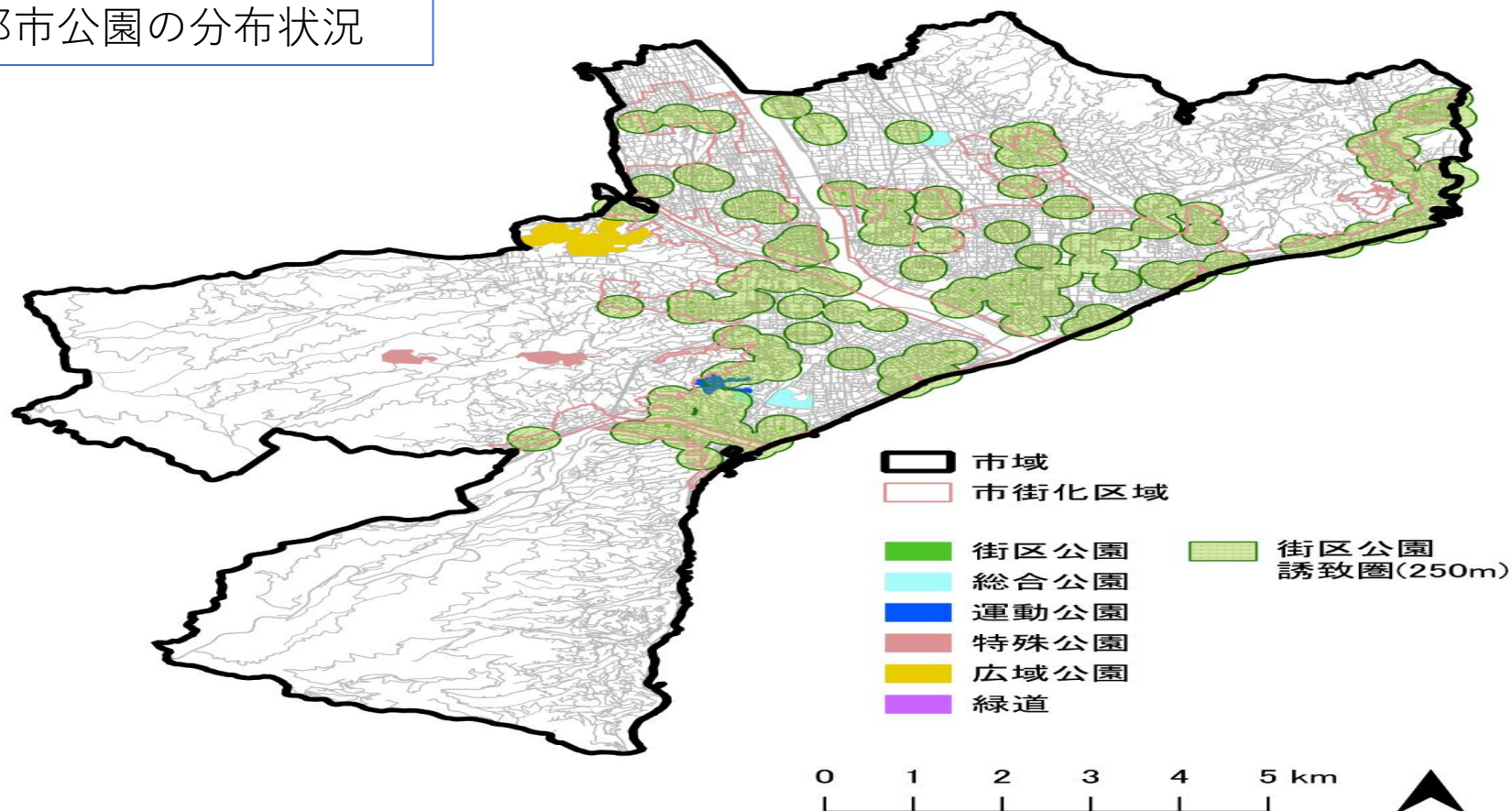
### (1) 施設緑地

○都市公園は市内に154か所、総面積は88haであり、一人当たりの公園面積は5.51㎡で、県全体の平均（5.84㎡）よりやや少ない。

○都市公園のうち、約3分の1の48か所は300㎡未満の小さい公園となっており、また56か所は40年以上前に供用開始されたもので、設備の老朽化が顕著である。

○都市公園以外の施設緑地としては、みどりの広場や児童公園、学校等の校庭、市民農園、植栽帯等がある。

都市公園の分布状況

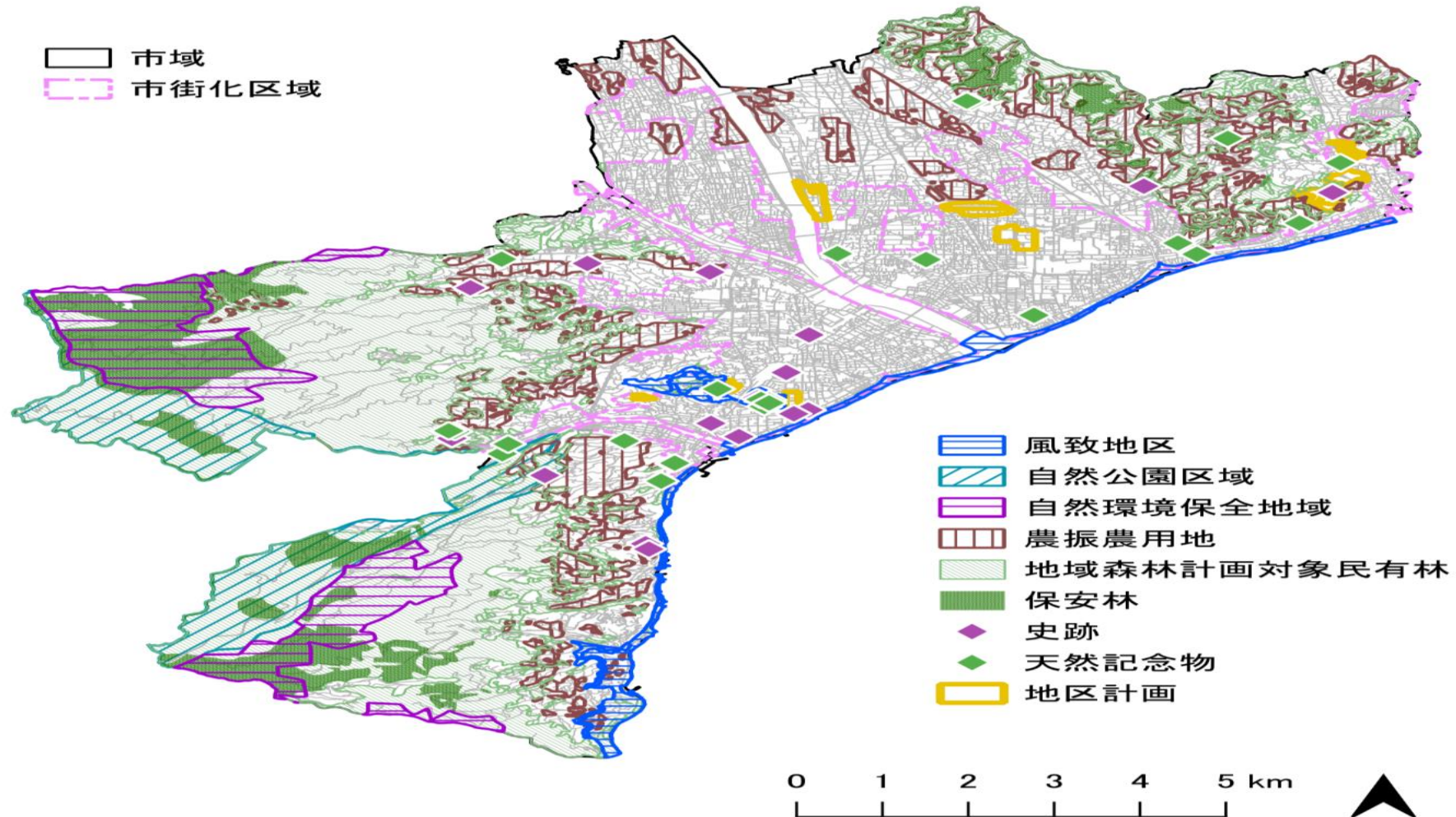




## (2) 地域性緑地

○地域制緑地について、本市においては、風致地区、生産緑地地区、農業振興地域農用地区域、保安林、保存樹・保存樹林、天然記念物等があります。

地域制緑地 分布図状況

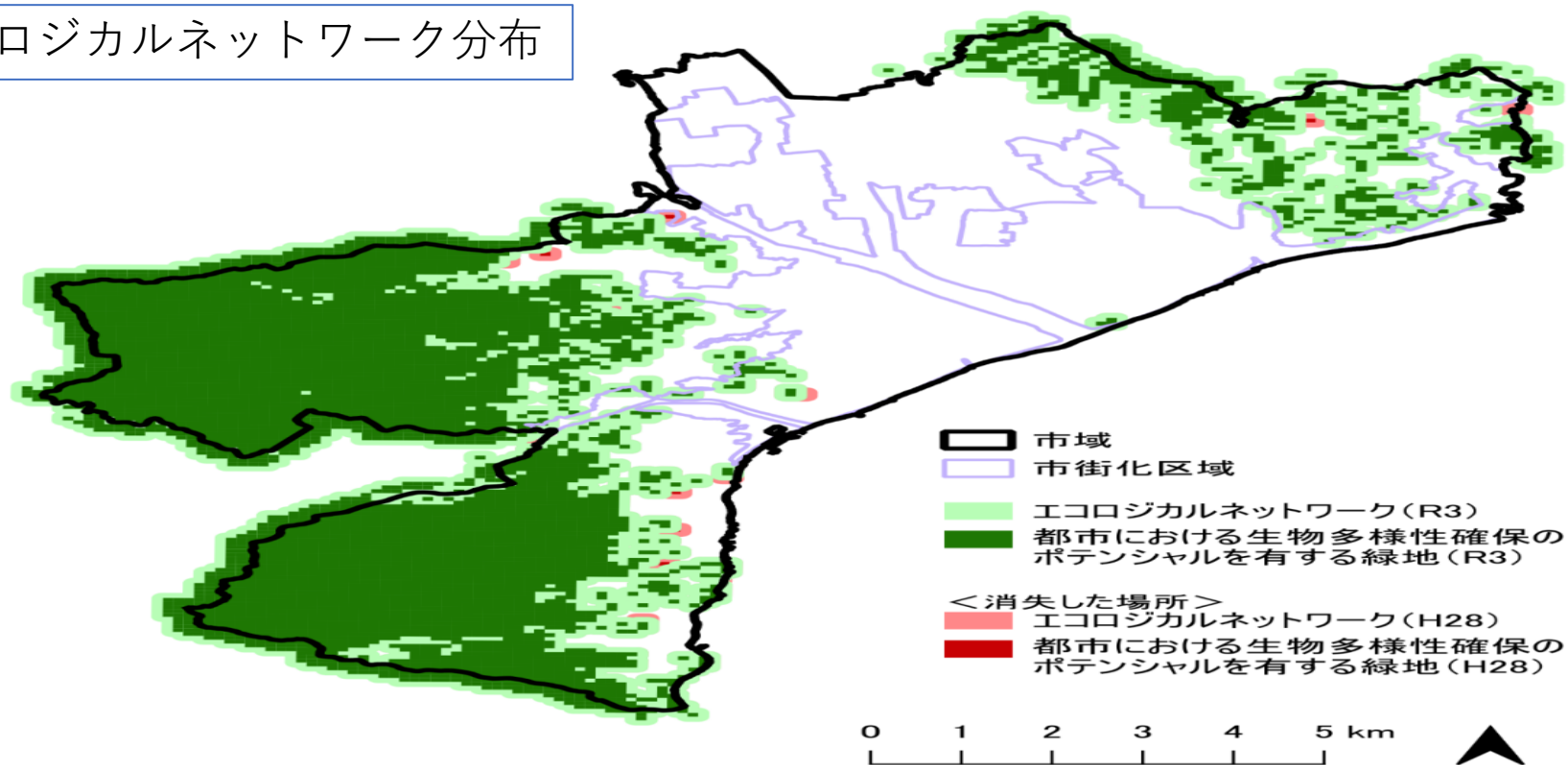


### 3 環境関係調査

#### (1) 生態系

○エコロジカルネットワーク（野生生物が生息・生育する様々な空間がつながる生態系のネットワーク）の指標値（※）は、令和3年（2021年）時点で64.94となっており、平成28年（2016年）時点の64.79と比較し微増しているが、一部の山麗のエリアにおいて、ネットワークが消失している場所もある。

エコロジカルネットワーク分布

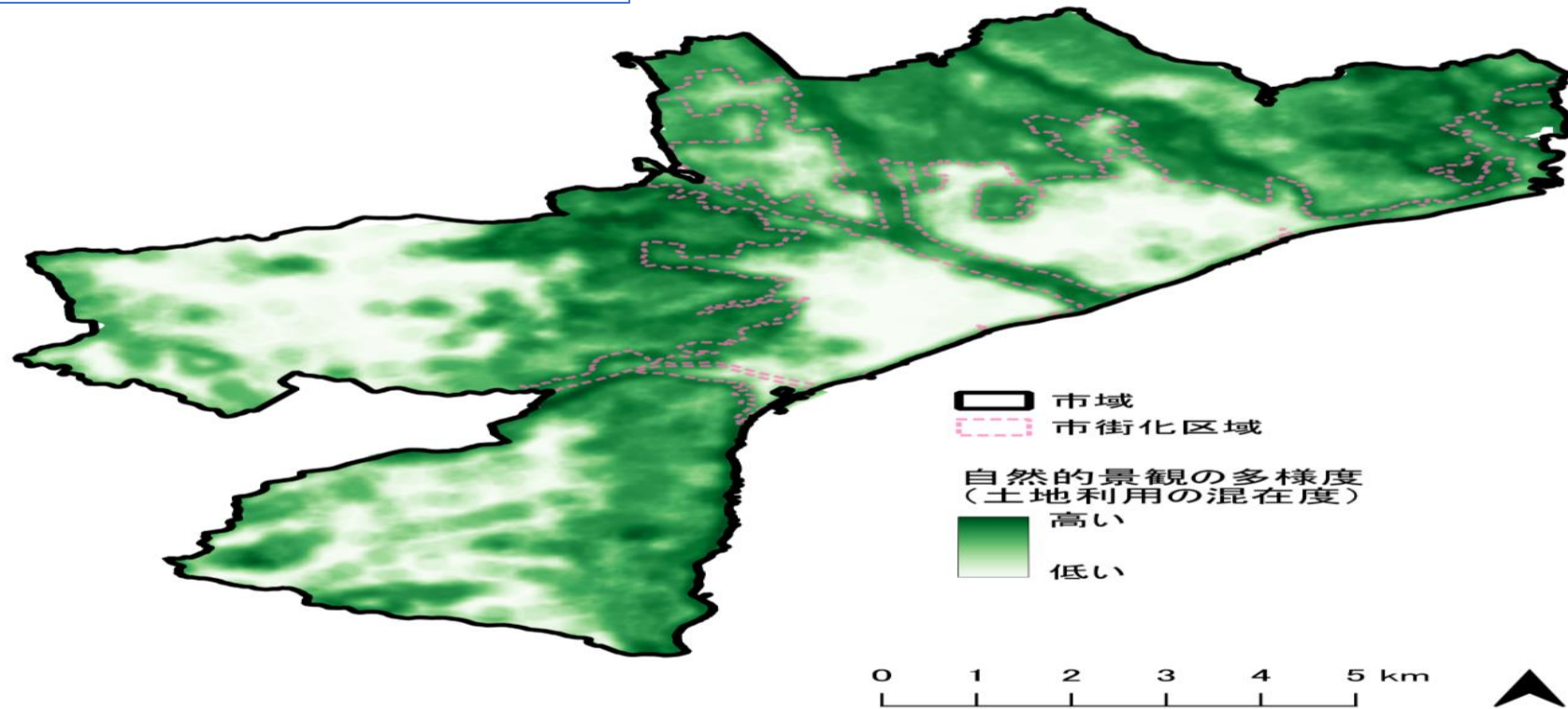


※エコロジカルネットワークの指標値とは、国土交通省「都市における生物多様性指標（簡易版）」（平成28年）で示された指標。

## (2) 自然的景観の多様度

- 里山などの生態系のモザイク性（※）が高い場所は、生物多様性が高いとされており、そのような場所を評価する指標として自然的景観の多様度がある。
- 本市においては、市街化区域と市街化調整区域の境界部や農地が広がる足柄平野の中流域、東部の丘陵地帯などでこの指標値が高くなっている。

### 自然景観の多様度



※生態系のモザイク性とは、森林、草地、水辺等、異なる生態系がモザイクのように組み合わせられた状態



### (3) 水関係

#### ア) 水循環

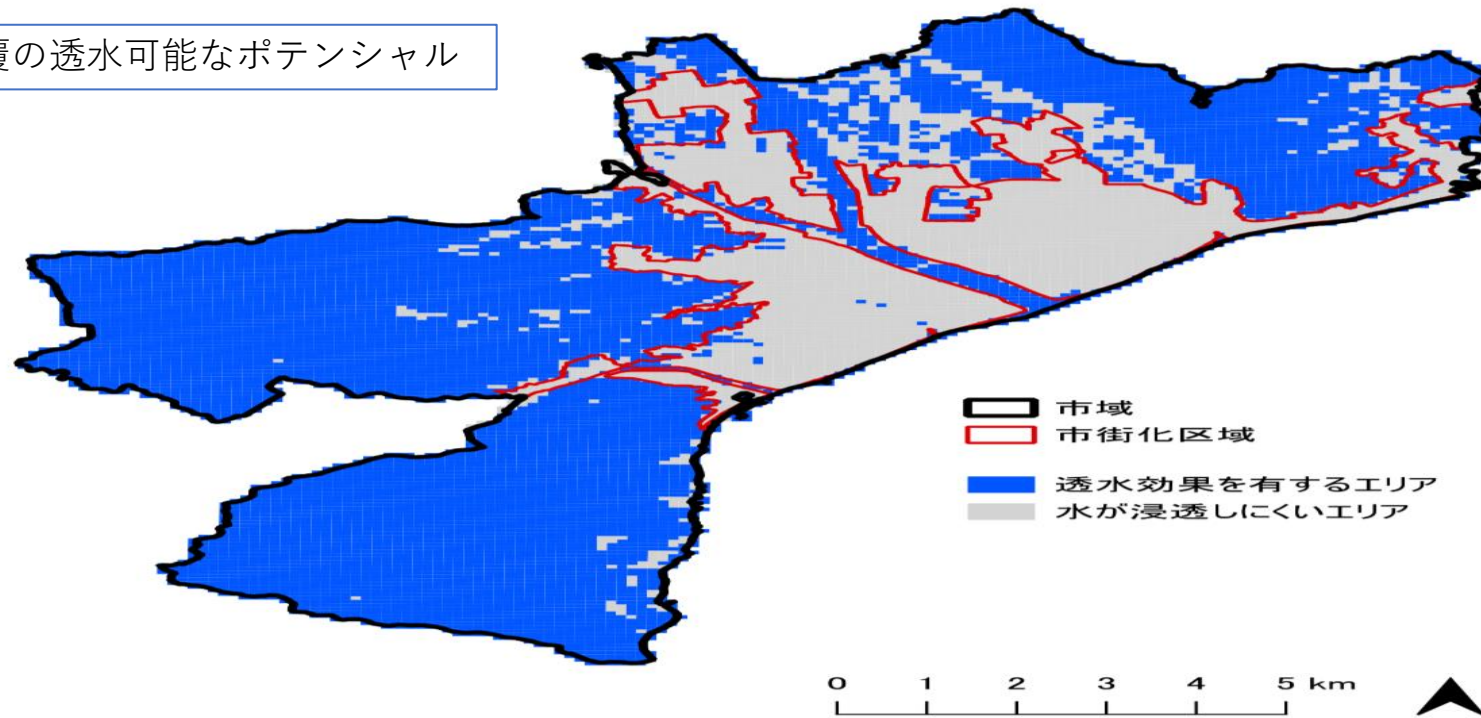
○既存研究によると、足柄平野では、雨・川・地下水の出入りがほぼ均衡している。

○地下水の汲み上げはその8割が事業用であり、年ごとに少し変動はあるものの、長期的には地下水量は安定しているとされている。

#### イ) 土地被覆の透水可能なポテンシャル

○透水可能なポテンシャルを有する土地被覆（※）は市域の69.7%を占めており、ほとんどが市街化区域外に位置している。

土地被覆の透水可能なポテンシャル

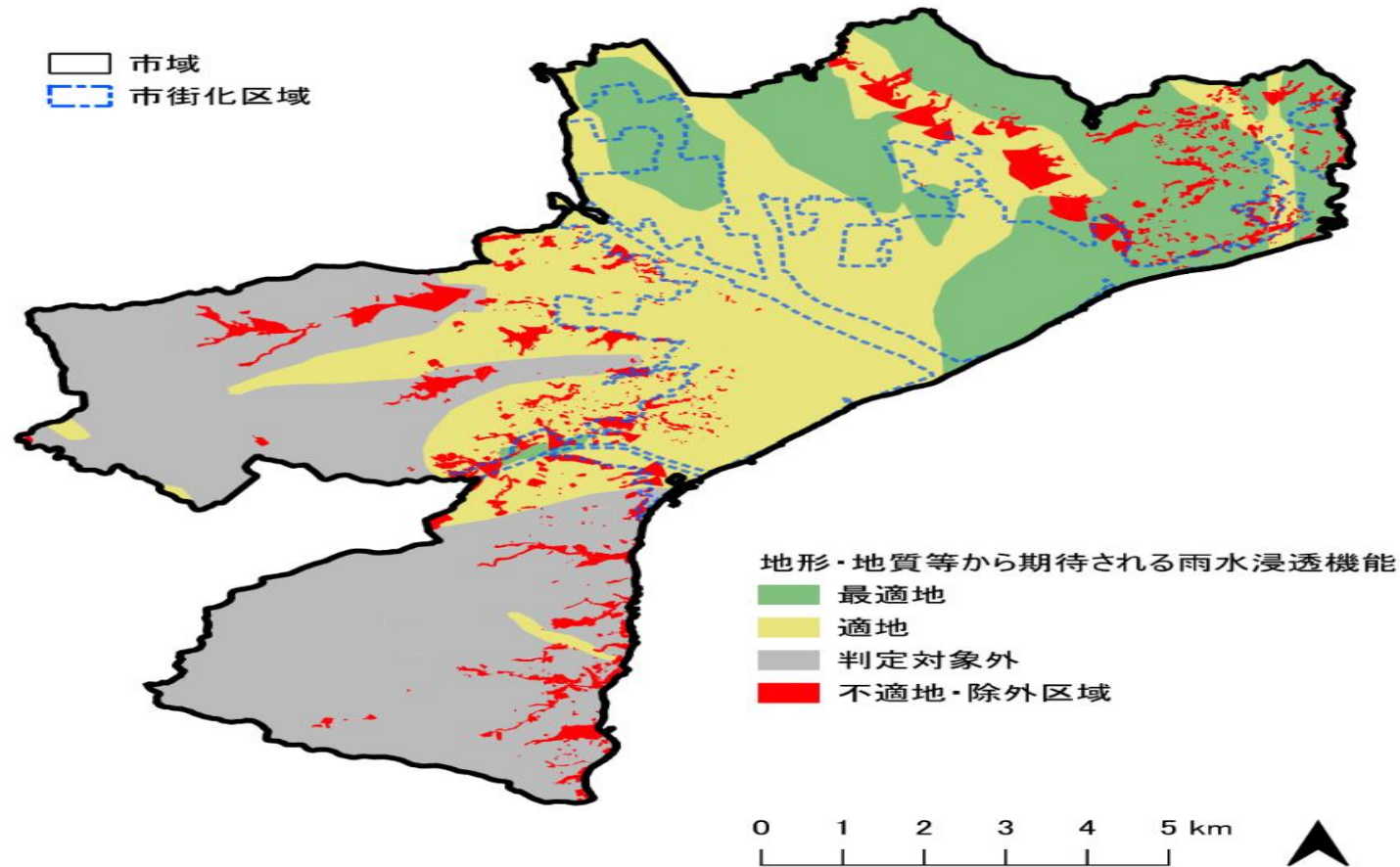


※都市の緑地（田、その他の農用地、森林、荒地、河川地など）を「浸透可能なポテンシャルを有する土地」とみなし、市域に占める割合を算出。

ウ) 地形・地質等から期待される雨水浸透機能

○地形・地質等から期待される雨水浸透機能は、市の東部を中心に最適地が多くなっており、このエリアにおける雨水等の浸透性向上が重要になる。

地形・地質等から期待される雨水浸透機能





#### 4 文化財と一体となっている緑

○緑と一体となっている文化財として、市内には14件の史跡（国指定 2 件/県指定 2 件/市指定10件）、26件の天然記念物（国指定 1 件/県指定 4 件/市指定21件）が存在している。

##### ■史跡

	名称	指定者		名称	指定者
1	小田原城跡	国	8	中世集石墓	市
2	石垣山	国	9	久野諏訪ノ原 4 号古墳	市
3	石橋山古戦場のうち与一塚及び文三堂	県	10	稲葉一族の墓所と鉄牛和尚の寿塔	市
4	明治天皇宮ノ前行在所跡	県	11	久野 1 号古墳	市
5	明治天皇本町行在所跡	市	12	大久保一族の墓所	市
6	平成輔の墓所	市	13	桐大内蔵の墓所	市
7	北条氏政・氏照の墓所	市	14	田島及び羽根尾横穴古墳	市

## ■天然記念物

	名称	指定者
1	早川のビランジュ	国
2	勝福寺の大イチョウ	県
3	小田原高等学校の樹叢	県
4	勝福寺・八幡神社の樹叢	県
5	中津層群神沢層産出の脊椎動物化石	県
6	御感の藤	市
7	長興山の枝垂桜	市
8	光照寺のヒイラギ	市
9	長興山鉄牛和尚寿塔付近の樹叢	市
10	上輩寺の乳イチョウ	市
11	総世寺のカヤ	市
12	小田原城跡のイヌマキ	市
13	前川近戸神社の社叢	市

	名称	指定者
14	小田原城跡本丸の巨松	市
15	小田原城跡のビャクシン	市
16	王子神社の杉	市
17	入生田のカゴノキ	市
18	眞福寺のボダイジュ	市
19	菅原神社のムクノキ	市
20	眞福寺のタブノキ	市
21	眞福寺のイトヒバ	市
22	紀伊神社の社叢	市
23	廣済寺のカキ	市
24	瑞雲寺のモッコク	市
25	三島神社のケヤキ	市
26	須賀神社のクスノキ	市

## 史跡・天然記念物の分布

